

## 新公立病院改革プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

### 半田市立半田病院

#### 【地域医療構想を踏まえた役割】（P13）

当院は知多半島医療圏内で唯一、救命救急センターを運営する高度急性期病院です。

また、災害拠点病院や地域周産期母子医療センターとして、救急医療だけでなく災害医療や周産期医療等の政策的医療の提供も積極的に行っています。重要疾病への対応としては、地域がん診療拠点病院として、外科療法・放射線療法・化学療法など、複数の治療法を組み合わせた集学的がん医療の実践を図っており、知多半島医療圏におけるがん医療の中心であるとともに、脳卒中や急性心筋梗塞などのハイリスク患者の受入れを積極的に行っています。

愛知県地域保健医療計画の知多半島医療圏保健医療計画においても、半田病院は知多半島医療圏における主要疾患・事業の拠点施設としての役割を担っています。

特に、がん医療、循環器医療（脳血管・心臓）については、知多半島医療圏における患者シェア率の維持向上のため、重点的に強化することが求められています。

今後も、高度急性期を中心とした急性期医療を担うものとし、回復期以降については地域の医療機関との再編・ネットワークを具体的に構築し、連携機能を充実するとともに、救急医療、災害医療、周産期・小児医療等の政策的医療についても、公立病院として現在果たしている役割を継続していく必要があります。

また、質の高い医療を提供するために、健全経営病院として、引き続き市の協力を得て運営していきます。

**【再編・ネットワーク化】(P17)**

知多半島医療圏内の状況として、救急医療体制では、第3次医療を提供する当院をはじめ、第2次医療の中心を担う公立西知多総合病院と常滑市民病院と、その他10の病院・診療所（小嶋病院、国立長寿医療研究センター、厚生連知多厚生病院、渡辺病院、石川病院、杉石病院、県あいち小児医療センター、中野整形外科、竹内整形外科内科クリニック、前原整形外科リハビリテーションクリニック）が支えている状況となっています。

平成26年4月にネットワーク化の取組みとして、地域連携システムの利用を開始し、地域の医師会との診療情報の共有化による病診連携を図り、地域医療の質の向上を図っています。平成29年2月には、公立西知多総合病院や常滑市民病院との地域連携システムを利用した病病連携を開始しており、今後も更なるネットワーク化に取り組んでいきます。

また、平成27年12月には、在宅医療連携システム（だし丸くんネット）の利用が開始されました。半田病院は地域の中核病院として、本システムの円滑な運営のため、ネットワークの提供、看護師の派遣などの支援を行っています。

今後も、医療圏内で急性期の医療から在宅医療まで適切な医療を将来にわたって継続的に受けられるようにするため、地域医療支援病院として地域の医師会や地域の医療機関等とのさらなる連携強化に取り組んでいきます。

**【数値目標について】**

プラン別冊【半田病院 新改革プラン取組目標】 参照